

4 【自動車の利用と環境問題について】

(1) 自動車の運転の有無

◇「する」が6割台半ば

問12 あなたは、車を運転しますか。(○は1つ)

<図表 12-1> 自動車の運転の有無



自動車の運転の有無を聞いたところ、「する」(66.0%)が6割台半ばとなっている。一方、「しない」(32.4%)は3割を超えている。(図表 12-1)

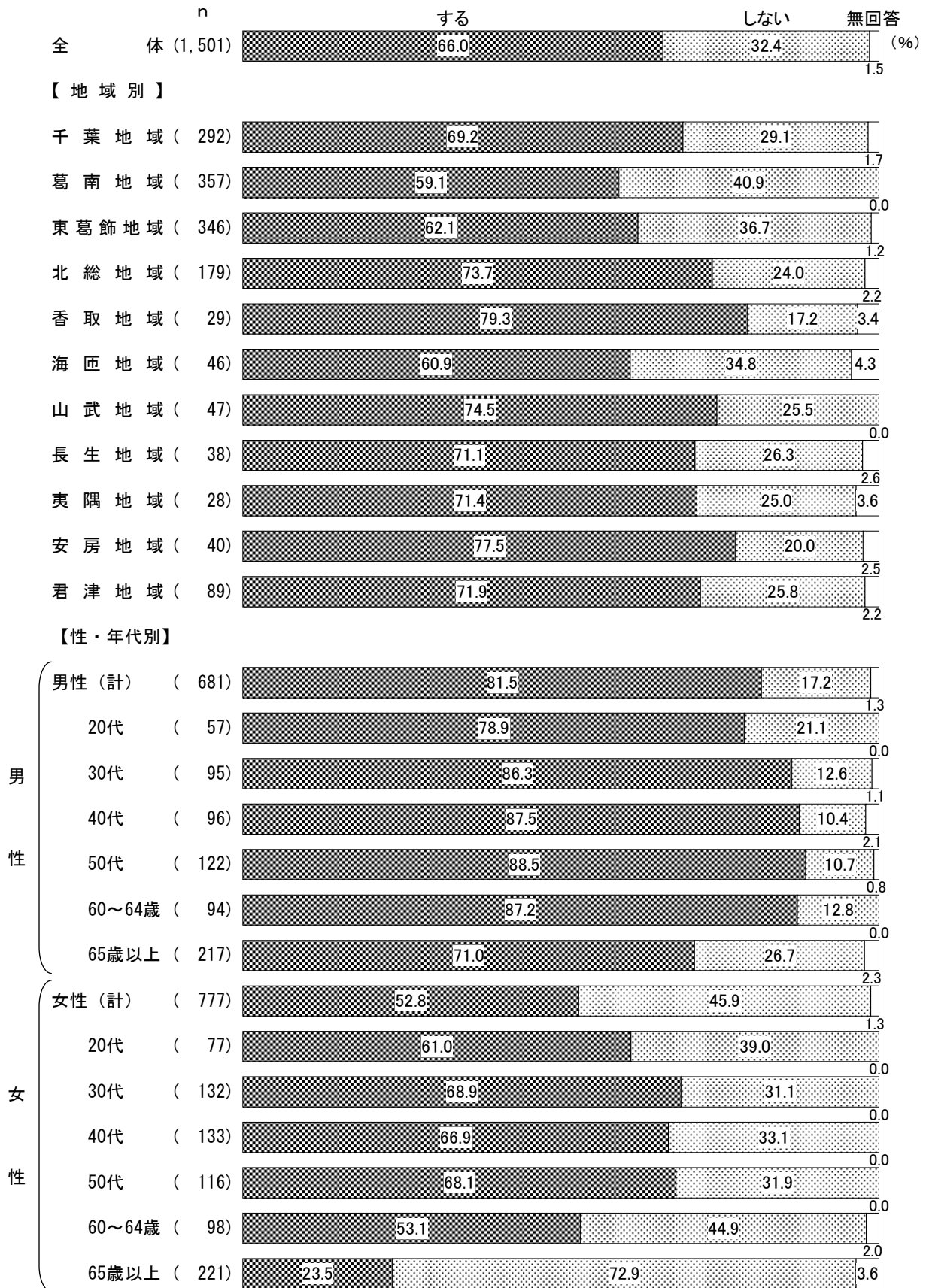
【地域別】

地域別にみると、「する」は“香取地域”(79.3%)と“安房地域”(77.5%)が約8割で他の地域と比べて高くなっている。(図表 12-2)

【性・年代別】

性・年代別に見ると、男性40代(87.5%)、男性50代(88.5%)、男性60～64歳(87.2%)がそれぞれ約9割で他の年代と比べ高くなっている。また、女性30代(68.9%)、女性50代(68.1%)がともに約7割で他の年代と比べ高くなっている。(図表12-2)

<図表 12-2> 自動車の運転の有無／地域別、性・年代別



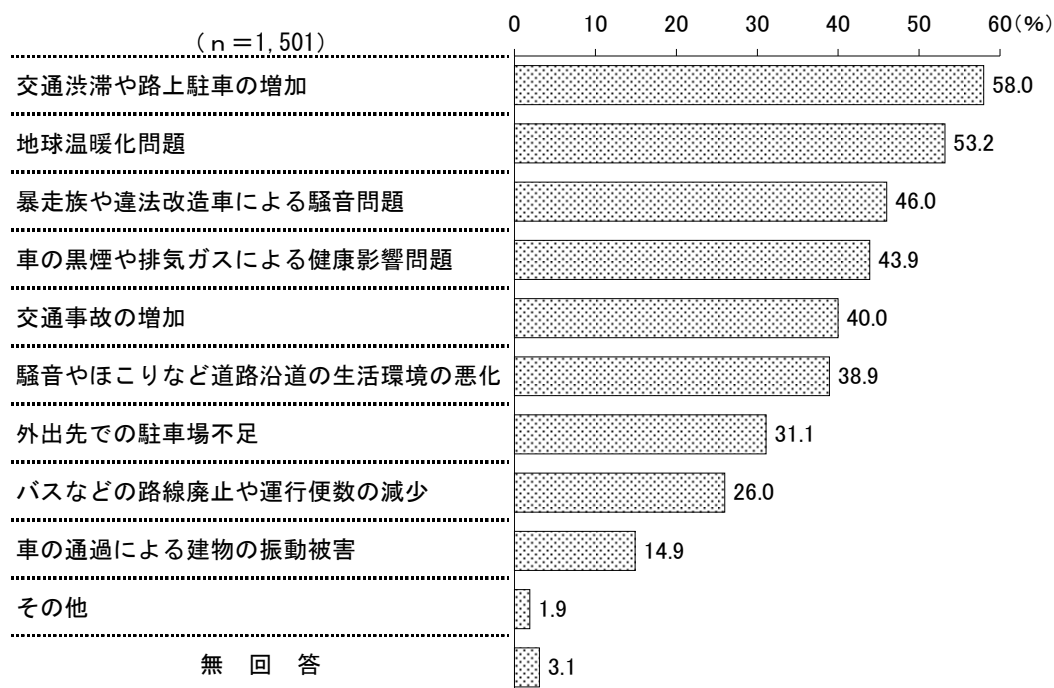
(2) 自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うこと

◇「交通渋滞や路上駐車増加」が約6割

問13 自動車は生活する上で大変に便利なものですが、その反面、自動車の使用に伴い、いろいろな問題が生じています。あなたが特に解決したい問題はどれですか。

(〇はいくつでも)

<図表 13-1> 自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うこと



自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うことを聞いたところ、「交通渋滞や路上駐車増加」(58.0%)が約6割となっており、以下、「地球温暖化問題」(53.2%)、「暴走族や違法改造車による騒音問題」(46.0%)、「車の黒煙や排気ガスによる健康影響問題」(43.9%)などが続く。

(図表 13-1)

【地域別】

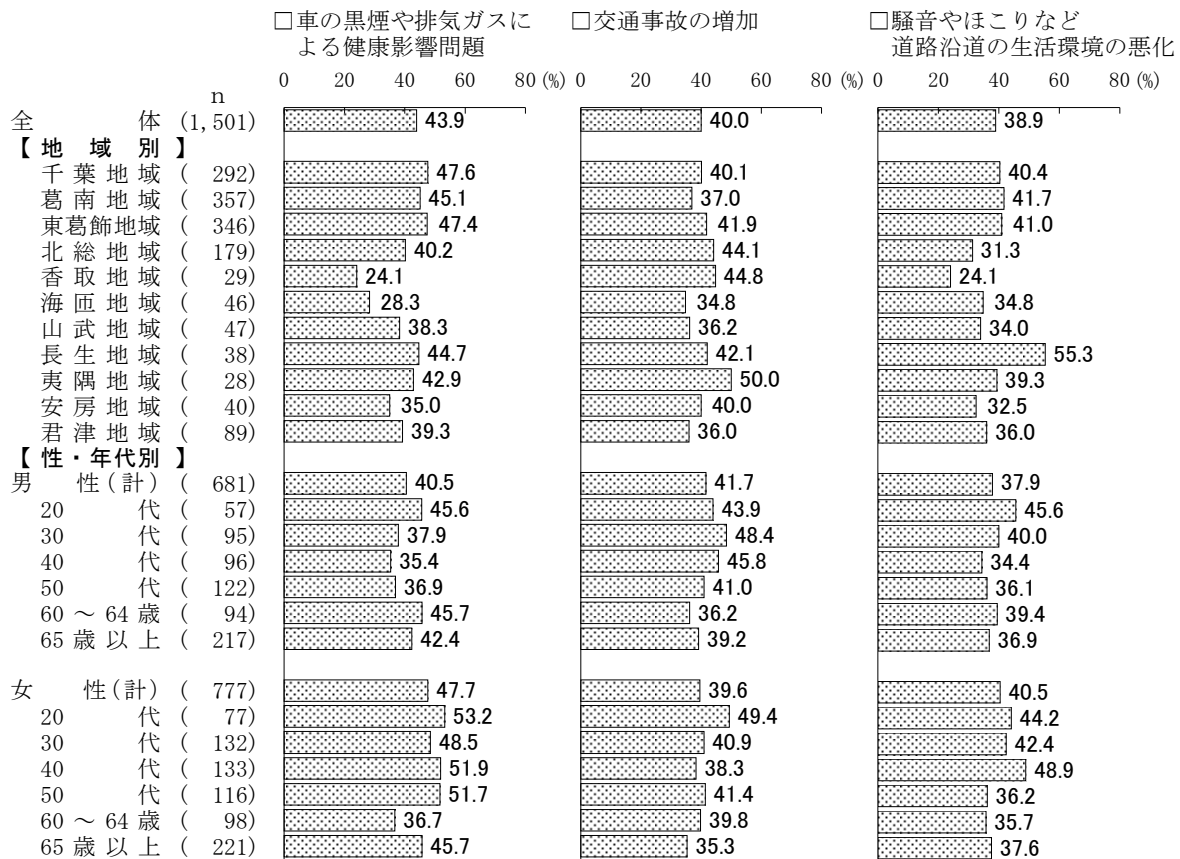
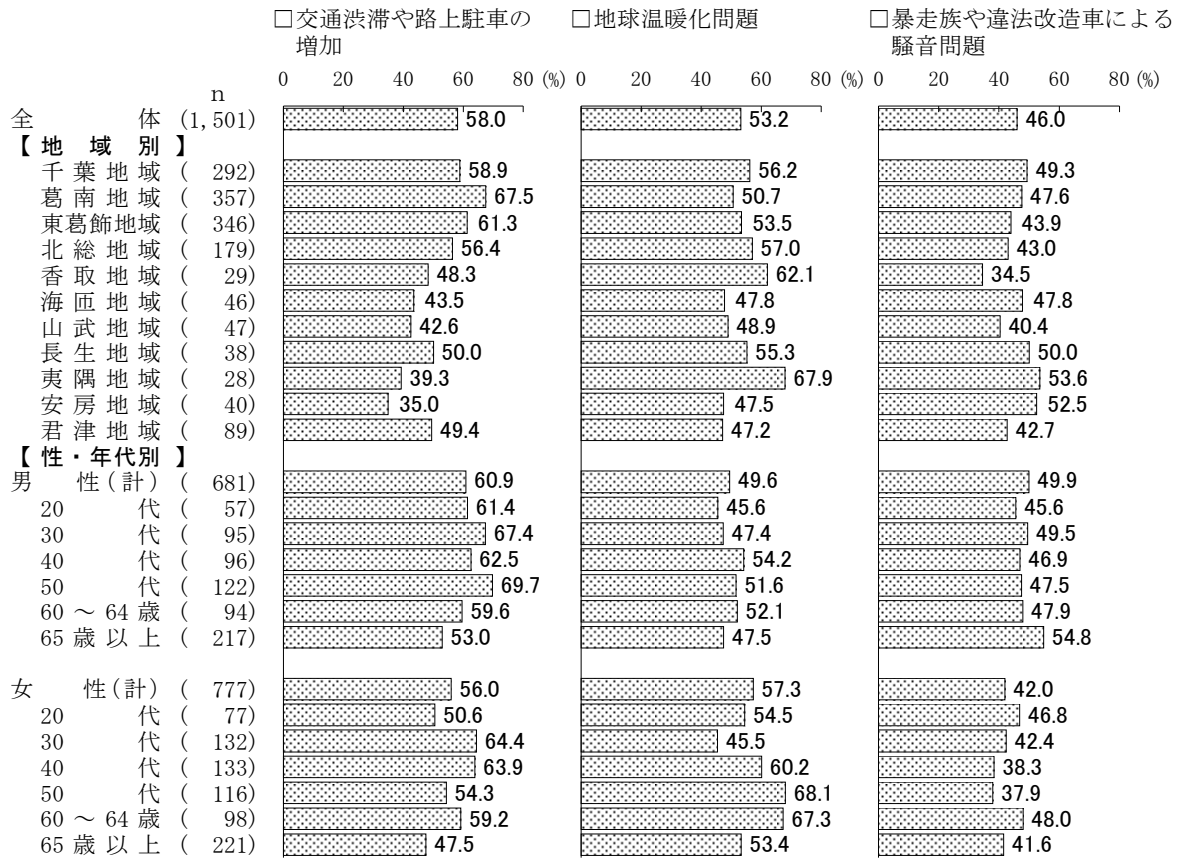
地域別にみると、「交通渋滞や路上駐車増加」は“葛南地域”(67.5%)が約7割で他の地域と比べて高くなっている。(図表 13-2)

【性・年代別】

性・年代別に見ると、「交通渋滞や路上駐車増加」は男性50代(69.7%)が約7割で他の年代と比べて高くなっている。また、女性30代(64.4%)、女性40代(63.9%)がともに6割台半ばで他の年代と比べ高くなっている。(図表13-2)

<図表 13-2> 自動車の使用に伴って生じる問題で解決したいと思うこと

／地域別、性・年代別（上位6項目）

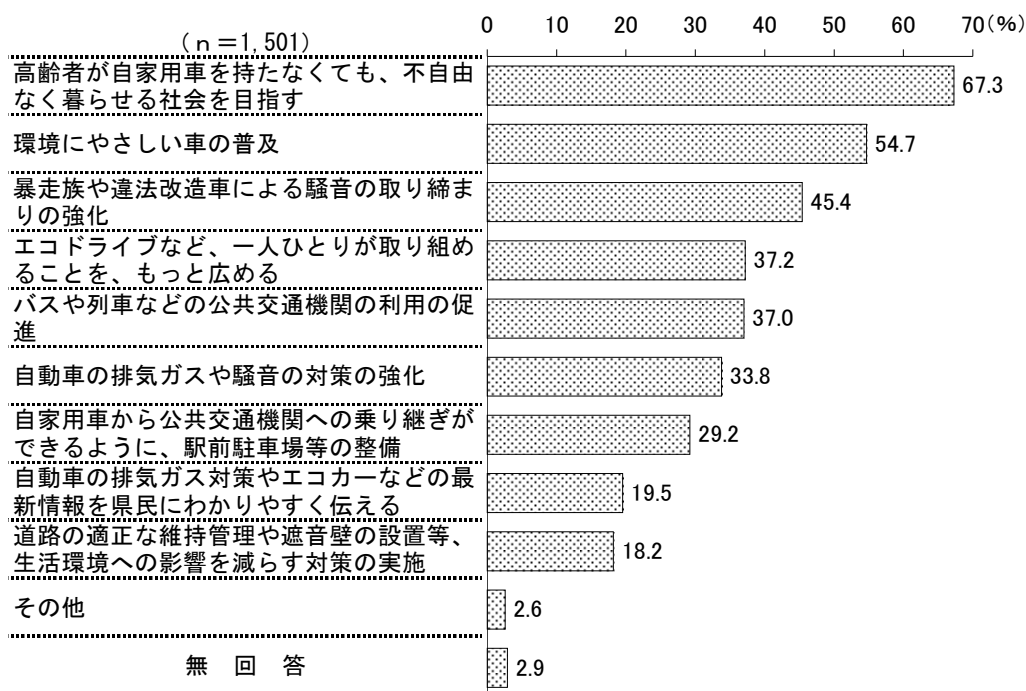


(3) 自動車をめぐる環境問題の解決のために国や県などの行政に期待すること

◇「高齢者が自家用車を持たなくても、不自由なく暮らせる社会を目指す」が約7割

問14 あなたは、自動車をめぐる環境問題の解決について、国や県などの行政に対してどのような対策を望みますか。(〇はいくつでも)

<図表 14-1> 自動車をめぐる環境問題の解決のために国や県などの行政に期待すること



自動車をめぐる環境問題の解決のために行政に期待することを聞いたところ、「高齢者が自家用車を持たなくても、不自由なく暮らせる社会を目指す」(67.3%)が約7割となっており、以下、「環境にやさしい車の普及」(54.7%)、「暴走族や違法改造車による騒音の取り締まりの強化」(45.4%)などが続く。(図表 14-1)

【地域別】

地域別にみると、「高齢者が自家用車を持たなくても、不自由なく暮らせる社会を目指す」は“夷隅地域”(78.6%)が約8割で他の地域と比べて高くなっている。(図表 14-2)

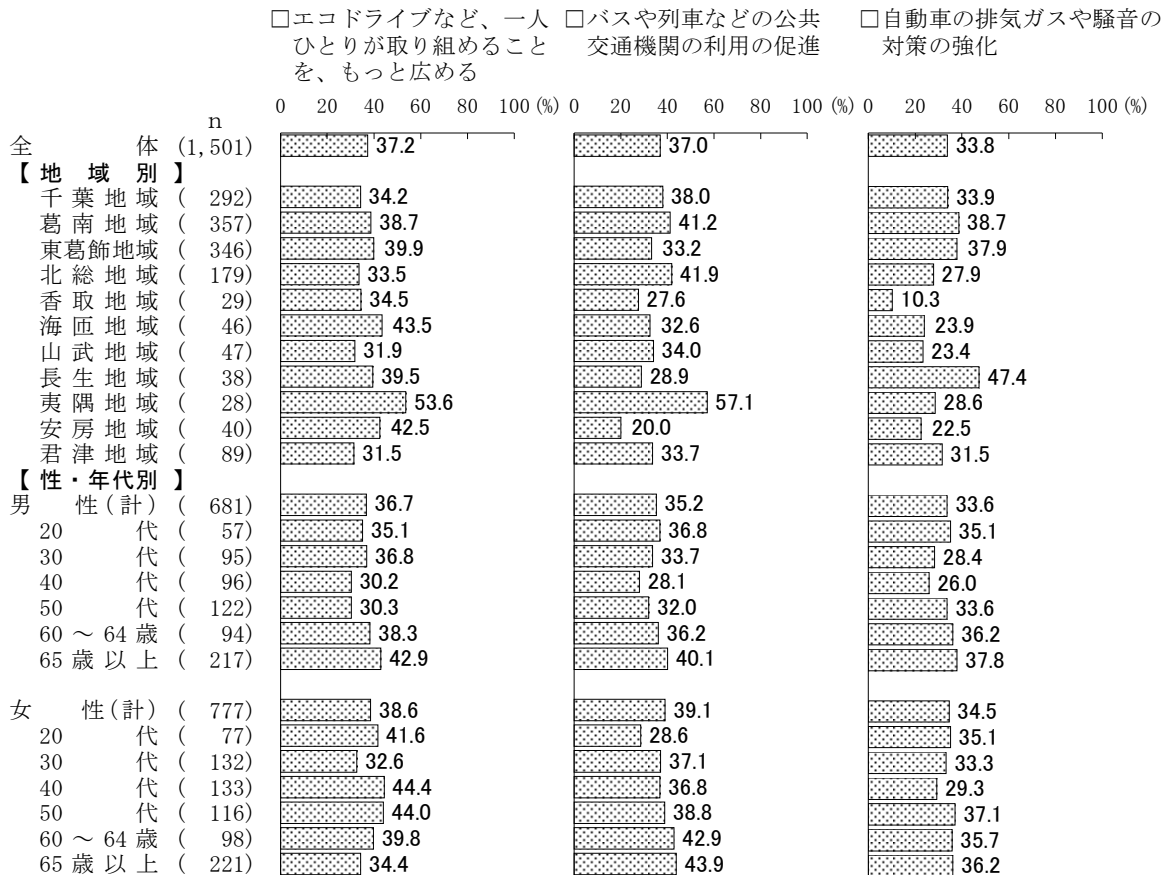
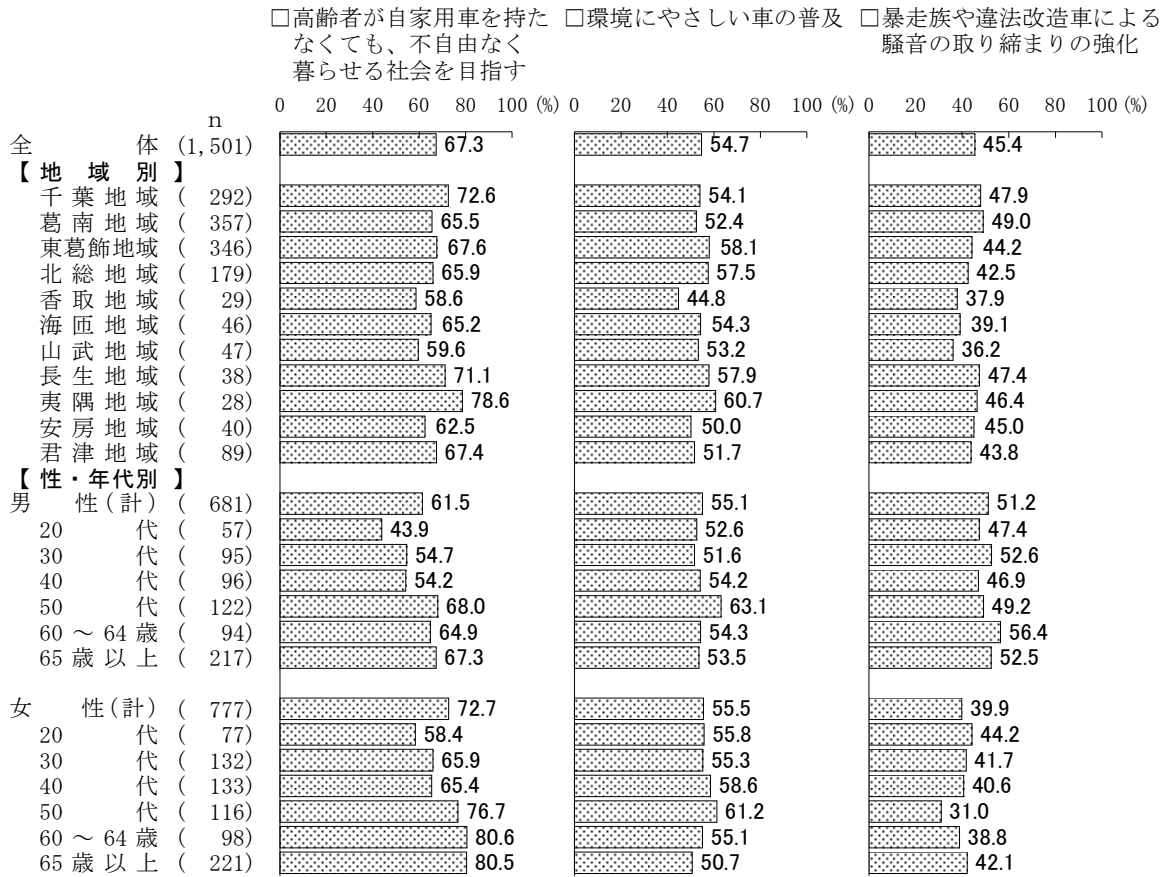
【性・年代別】

性・年代別に見ると、「高齢者が自家用車を持たなくても、不自由なく暮らせる社会を目指す」は男性50代(68.0%)、男性65歳以上(67.3%)がともに約7割で他の年代と比べ高くなっている。また、女性60~64歳(80.6%)と65歳以上(80.5%)が8割で他の年代と比べて高くなっている。

(図表14-2)

<図表 14-2> 自動車をめぐる環境問題の解決のために国や県などの行政に期待すること

／地域別、性・年代別（上位6項目）



問 「自動車の利用と環境問題」やここまでの質問（問12～問14）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、158 人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■ 「自動車の利用と環境問題」の自由回答(抜粋)

- 私の住んでいる所は田舎なので、車がなければ買い物にすら行けません。だから、高齢者も車を運転せざるをえません。都会の人は公共交通機関が整っているから、車がなくても生活できるから良いです！田舎の公共交通機関の整備に力を入れてほしいです！
(女性・20代・山武地域)
- 自転車用道路の整備!!公共自転車を提供し、車の使用の削減に取り組む。
(女性・40代・千葉地域)
- 次の車はエコカーにしたいと思ってるけど、まだ環境がととのっていない。マンションの駐車場と電気コード口が無いし、ガソリン車の方が整っている。(女性・65歳以上・千葉地域)
- 千葉県は他県に比べ、とても道の繋がりが悪く不便だと思います。道路を新しく作っても利用する人がかえって不便に感じることもあるかと思います。電車も含めて接続が悪い。
(女性・30代・北総地域)
- 高速道路の料金減額・ETC割引による車の増加により、排ガスなどにつながるので、割引や減額も考えものだと思う。(女性・40代・千葉地域)
- 暴走族の騒音が本当にひどいです。道を行ったり来たりで、ずっと走ってます。警察もなかなか取締りをしてくれません。あと、シートベルトの取締りはするのだけど、路上駐車取締りはあまりしていない様に思えます。(女性・30代・君津地域)
- 海外の都市に見られるような郊外に無料(安い)の駐車場を作り、そこから都心へのシャトルバスが運行するようなシステムが日本には作れないものか。又、都心エリアへの入場料を徴収するなど、そのお金を環境問題改善に使用する。(男性・20代・北総地域)
- 公共交通を積極的に利用させる工夫。事業者が公共交通利用者には運賃以外に手当を出すとか、車出勤者の手当を減らすとか。車ナンバーによって、通勤時の使用制限をする。車会社・スタンド等、反対も多いが、本当に孫の代までの環境を考えるのなら、もっと強力な対策が必要である。(男性・65歳以上・千葉地域)
- 排気ガスによる健康問題については、一つの方策として渋滞の解消に努める必要がある。信号の改善により車両数の多い道路を優先する等、見直すことによりスムーズな流れを作り出す。
(男性・65歳以上・東葛飾地域)
- 自動車は必要不可欠であるから、環境にも人にもやさしい車作りを支援すべきではないかと感じます。(男性・20代・東葛飾地域)